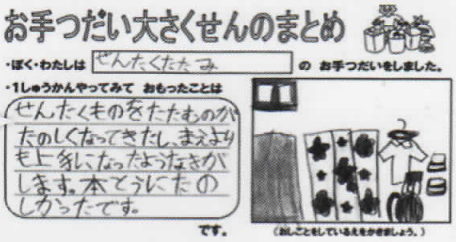
自ら表現するための工夫

生活科

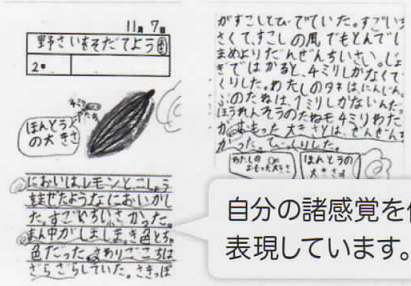
自分の思いや願い、気付きを素直に表現できる生活科カードの活用

1年「お手伝い大さくせん」

以前の自分と比べて成長した点を挙げ、達成感を感じている表現が見られます。



2年「野さいをそだてよう」



予想していた種の大きさと、実際の種の大きさを、図を使って表現しています。

自分の諸感覚を使い表現しています。

活動後や単元のまとめでは、生活科カードを活用し体験したことをまとめました。この活動を続けることで、「見付ける力」「くらべる力」「たとえる力」が身に付き、質の高い気付きを表現できるようになりました。

対象への思いを高める工夫

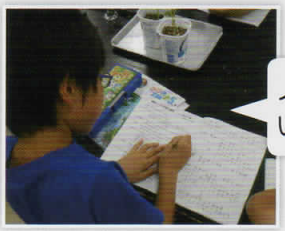
2年「生きものとなかよし」

「ハートメッセージ」に生き物への思いを表現しました。

「生き物との仲良し度」を数値化しました。思いの強さを教師も把握できました。

理　科

「理科ノートの書き方・まとめ方」の活用



ノートに添付しいつでも参考に

発達段階に応じて2パターン作成しました。中学年用には、表現の基礎となる話型も表記し、書くことへの苦手意識を解消できるように工夫しました。

理科ノートの書き方・まとめ方　～ノート名人への道～
3年生　4年生バージョン

1、問題（調べたいこと）
「●●●は◎◎◎なのだろうか？」
これから調べたいこと、たしかめたいことを書く。
2、よそう
「○○○だと思う。そのわけは、△△△だから。」
「△△△だから、○○○だと思う。」
問題について自分のよそうを書く。どうしてそう思ったか、そのわけ（理由）も書く。
※今までに学習したことが使えないかな？
※自分のけいけんや体けんを思い出して書いてみよう！
3、実けんやかんさつの計画
・実けんのしち方　・じゅん番　・使う実けん道具　・回数や時間　・場所
実けんやかんさつで行うことをくわしく書く。図や表を使ってもよい。
※実けんやかんさつをしたら、どんな結かが出るか、よそうしよう！
4、結か
「□□□は◆◆◆だった。」
・図　・絵　・表　・グラフ　などを使って分かりやすくまとめよう！
実けんやかんさつをした結かを書く。※友達が見てもわかるように書こう！
5、わかったこと（考さつ）
「◆◆◆だから・・・・・・である（ことがわかった）。」
「◆◆◆なので・・・・・・である（ことがわかった）。」
「・・・・・・・である（ことがわかった）。その理由は◆◆◆だからだ。」
① 実けん結かから、わかったことを書く。
※ふえた？　へった？　かわった？　かわらなかった？
② 実けん結かを・自分のよそう・友達や他のグループの結果とくらべたことを書く。
6、結ろん
「●●●は・・・なので◎◎◎だ。」みんながなっとくしたことを書く。
7、まとめ
実けんやかんさつをして、よかったところ、わるかったところを書く。
新しく調べたいことや自分の生活に役立ちそうなことを書く。

理科ノートの書き方・まとめ方　～ノート名人への道～
5年生　6年生バージョン

1、問題　これから調べることを書く。
2、予想　問題に対しての自分の考えを書く。
☆自分の経験や今までの学習を思い出して、理由も書けると◎
（仮説の場合：「こんな実験をすれば、こんな結果になるだろう」ということを書く。）
3、実験計画　実験の仕方を、順番、使う実験器具、回数が分かるように書く。
☆結果の予想も書けると◎
4、結果　実験の結果の様子や数値を、正確に、起こったことをそのまま書く。
☆他の人が見ても、どんな結果が出たのか分かるように書くと◎
5、考察　結果を整理して考えられることを書く。
・どんな結果と言えるのか。（増えた？変わった？どうだった？）
・「問題」に対してどんなことが言えるのか。
・予想と結果をくらべてどうか
・友達の結果とくらべてどうか。
・自分の予想や友達の結果とちがっていたら、その原因は何か。
6、結論　「問題」に対する答えを書く。
☆自分の結果だけでなく、友達の結果もふまえて、みんなが納得できることを書く。
7、まとめ　実験をしてわかったことから、次のことを書く。
・新たな疑問や次に調べてみたいこと。
・調べて分かったことが生活のどんな場面で見られるか、どんなことに生かされているか。
・実験を振り返ってみて実験の進め方やまとめ方について、次に生かしたいことや、友達のやり方でよかったことなど。